

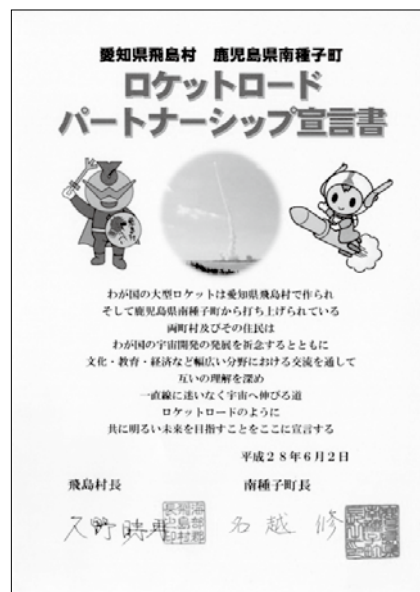
特集

みなみたね

鹿児島県南種子町と友好自治体提携 「ロケットロードパートナーシップ宣言」調印式を行いました!



▲手を取り合う久野村長・名越南種子町長



▲宣言書

6月2日(木)に、飛島村役場に飛島村と南種子町の「ロケットロードパートナーシップ宣言」及び「災害時における相互応援に関する協定」の調印式を行いました。

この式には、愛知県議会議員の黒川議員、石塚議員、そして株式会社ユニケミー 濱地代表取締役会長にご臨席いただきました。

今回の友好自治体提携は、国際宇宙ステーションで利用される飲料水の精製及び積込作業をする株式会社ユニケミー(名古屋市)の提案により実現したもので、宇宙航空機産業を担っている企業が立地し、ロケットの組み立て拠点がある飛島村と、そのロケットを打ち上げる宇宙航空研究開発機構(JAXA)の射場・種子島宇宙センターがある南種子町との交流を行うことを目的としたものです。

将来を担う子どもたちの相互訪問を行い、お互いの地域を理解するための交流、両地域の特産品を生かした交流、また、災害時における相互応援など、両町村の住民の相互交流と相互理解が一層深まるよう、様々な取り組みを進めていきます。

「ロケットロード パートナーシップ」

ロケットが打ち上がった噴煙のあとを、「ロケットロード」と呼びます。

飛島村で造られたロケットは、南種子町へ船で運び込まれ、そして種子島宇宙センターで打ち上げられます。その道筋をロケットロードにたとえました。

打ち上げられたロケットは、寄り道をせず、まっすぐ目的地へとたどり着きます。

飛島村と南種子町は共に助け合い、様々な目標に向かってまっすぐに突き進んでいく、そのような願いを込めて「ロケットロード パートナーシップ」と名付けました。

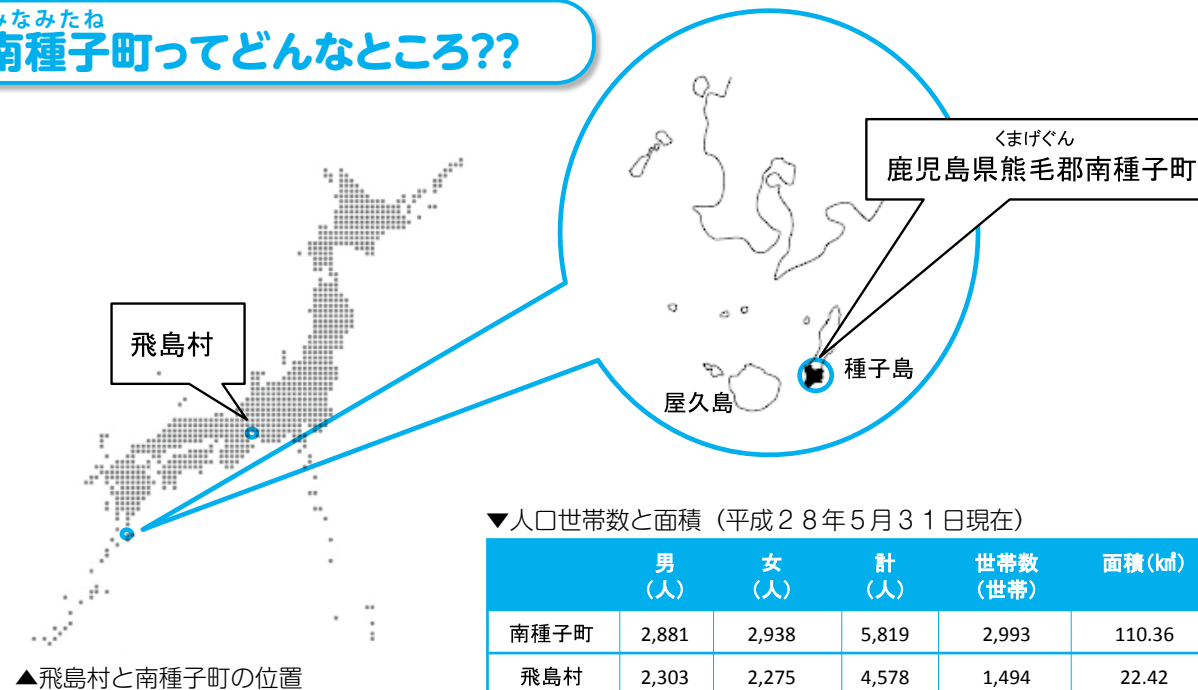
これまでの主な取り組み

- 平成27年10月 南種子町長、飛島村へ表敬訪問
- 平成28年2月 飛島村長、南種子町へ表敬訪問
- 平成28年4月 飛島村長、議会議長、教育長 南種子町へ表敬訪問



みなみたね

南種子町ってどんなところ??



南種子町は、大隅諸島の一つである種子島の南端に位置し、起伏の多い丘陵地帯で中央は海拔200m、中央から西部にかけては、最も年代の古い古代第三紀層で河川が多く、流域の沖積層には水田が広がっています。

1543年(天文12年)、ポルトガル人が乗った外国商船が最南端の門倉岬に漂着し、鉄砲伝来の地として歴史的な由来を持っています。

現在は、日本の科学技術の粋を集めた種子島宇宙センターがあり、歴史と未来が共存する町です。

超早場米「コシヒカリ」の出荷など、その温暖な気候と恵まれた農地を活かした農業が、南種子町の基幹産業です。

時を忘れさせる歴史とロマンのまち・みなみたね



▲南種子町キャラクター 宙太くん
ヘルメットに南種子町のイニシャル「M」のマークを付け、アンテナは火縄銃にしており、全体的にロケットと宇宙をイメージしたものです。



▲国史跡 広田遺跡
広田遺跡は、今より約1,700年前から1,300年前(弥生時代終末期~古代)にかけて営まれた集団墓地の遺跡です。遺跡は国の史跡に、出土品は、国の重要文化財に指定されました。



▲門倉岬
日本に初めて鉄砲を伝えたポルトガル人を乗せた外国商船が難破した岬です。岬の中には記念碑やモニュメント、神社があります。

世界一美しいロケット発射場がある南種子町!! ぼくもロケットの打ち上げを見てみたいなあ~!!

●問合せ先 総務部企画課

